

第52号

2017. 4. 20

日本歯科技工士連盟機関紙

れんめい

発行 日本歯科技工士連盟
 東京都新宿区市谷左内町 21-5
 歯科技工士会館内

発行人 衛 藤 勝 也

編集 日本歯科技工士連盟

執行部提出全議案を承認

2017年度第1回評議員会

日本歯科技工士連盟(会長・杉岡範明)は、去る3月18日(土)、歯科技工士会館(東京・市ヶ谷)において2017年度第1回評議員会を開催した。始めに八重樫新一副議長が氏名点呼を行い、評議員定数60名に対し57名の出席を確認(後刻3名の出席確認)。これを受け藤原俊彰議長が、日本歯科技工士連盟規約第26条に基づき2017年度第1回評議員会の開会を宣言した。

次いで議長は議事録署名人の選出方法を議場に諮った。その結果、議長一任となり、菊地澄男評議員(栃木)と泉沢一義評議員(石川)が指名され、両評議員とも受諾した。その後、1月25日に逝去された佐野恵明元会長のご冥福を祈り黙祷がささげられた後、杉岡会長の挨拶(要旨別掲)に移った。

その後、議長より議事に入る旨が議場に告げられ、執行部より第1号議案及び第2号議案が一括で上程された。

初めに第1号議案「2016年度活動一般報告の承認を求める件」が岩澤毅常任総務より上程され、第24回参議院議員通常選挙への対応、歯科技工士に関する制度推進議員連盟の活動、歯科三団体連盟役員懇談会の定期開催の継続、機関紙『れんめい』の発行等の活動について説明と報告が行われた。

次いで第2号議案「2016年度会計収支決算の承認を求める件」が阿部正従副会長より上程され、資料を基に詳細な説明がなされた。

また、監査報告として重松大三郎、田中勝實両監事より、2016年度の会計収支については伝票証憑等及びこれに関す



る帳簿等により、役員の業務執行については2016年度活動報告書及びこれに関連する書類によって監査をした結果、本連盟の会計は正確かつ適正に処理されており、会務は適正妥当に執行されたものであることを認める旨の報告が行われた。

引き続き質疑応答が行われるとともに(要旨別掲)、杉岡会長より、歯科技工士に関する制度推進議員連盟による厚生労働大臣への要望書提出について、厚生労働大臣と文部科学大臣への歯科技工士教育等の充実に関する要望書の提出について、歯科三団体連盟役員懇談会の開催について等、時局・渉外活動に関する説明と報告が行われた。その後、採決を行った結果、第1号議案、第2号議案とも賛成多数

により承認された。

次いで大西清支理事長より第3号議案「会員管理及び会費納入規程一部改正の件」が、また古橋博美副会長より第4号議案「旅費規程一部改正の件」が上程され、それぞれ採決を行った結果、賛成多数により承認された。

その後、協議事項として、組織拡充に関連して賛助会員の募集について執行部と評議員との間で意見交換が行われた。また報告事項として、特定個人情報取扱規程等一部改正についての報告が行われた。

最後に議長が議事進行への協力御礼を述べ、全日程が終了した。



国民のための歯科医療の未来を拓くために 杉岡会長挨拶要旨

始めに、1月25日にご逝去されました日本歯科技工士連盟元会長のご冥福を心からお祈り申し上げます。

本日は、決算評議員会とも言うべき2017年度第1回評議員会にご出席いただきありがとうございます。

ご存知と思いますが、2月19日に北海道、宮城県、東京都、大阪府及び福岡県の5カ所の試験地で第2回の全国統一の歯科技工士国家試験が無事終了しました。ちなみに、今年は1,012名の受験者でした。また、試験地に宮城県が追加されました。

歯科技工士国家試験委員としてこの間の実務に携わり、つくづく思いますのは、法律や制度が一旦改正により定められると、行政その他はダイナミックで着実な動きをするも

ので、かつてこの全国統一化に躊躇する意見があったことが、今となっては遠い昔話のように感じられます。

この法律や制度の改正から得られた教訓として、国政に係わる課題は、国民の利益を第一に考えて当事者がぶれずに提示し、現下の政治情勢の中で最も効率的な手法を選択しながら理解者や支援者を得ることで、初めて実現に向けて大きく動き出すということです。

私たち歯科技工士の環境を形作っている利害関係は、決して単純なものではなく、歴史を重ねた重層的なものです。その困難な条件の中で、積み残された課題解決に挑戦するためには、一人ひとりがこれまで以上に意識を高め、組織の機関決定の下に団結し、理解者である「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」との信頼関係を深め、

公益日技との連携によって成果を生み出していかなければなりません。

昨年11月7日に「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」から、塩崎厚生労働大臣に提出された『歯科技工士の抱える当面の課題の解決に向けての要望書』には、歯科技工士の経済問題と教育年限の延長等の長年の懸案が取り上げられています。

言うまでもなく、要望書提出は目的ではなく実現に向けた手段にしか過ぎません。今後は、「鉄は熱いうちに打て」のこたわごどおり、機を逃さず第2、第3の矢を射らなければなりません。そのためには日技連本部だけではなく、地域連盟組織の皆さんも地元で議連所属の議員や事務所と交流すること、そして地域の歯科医師会組織と真摯に話し合い理解を深めていただくことが重要です。

冒頭に述べたように、国民の利益のために歯科技工士は日本の歯科医療を支えているとの自負とプライドを持って、今日まで地域歯科医療の充実に貢献してきました。今後も国民のための歯科医療の未来を拓くために共に歩むことを誓って、挨拶いたします。

第1回評議員会質疑応答要旨

【質問1】委託技工料について、委託・受託の明示することへの取り組みの進捗状況を教えていただきたい。(宮崎・宮永評議員)

【回答】公益日技に設けた政策研究委員会において、歯科技工の委託と受託についての関係法令を含め基礎的研究を行っている。歯科技工士法第18条第1項に指示書についての規定があるが、歯科医師法の中にはないということで、歯科医師の法律に関わることであるので慎重に対応していく必要がある。(杉岡会長)

【質問2】これまでの60年のうち、前半の30年は社会党系を中心とした野党を応援していたと思う。その後は政権政党ということになっている。どちらのほうが我々の要望が具体的に実現したのか比較表をつくっていただきたい。議連と話し合いをするときには、それを踏まえた上で意見や希望を述べれば実現が早くなるのではないかと。(宮崎・宮永評議員)

【回答】法律が改正された結果を見ると、決して30年前のほうが多かったわけではなく、30年後のほうが1つ多かった。他のさまざまな政策についても今後、しっかりと精査し対応していきたい。(杉岡会長)

【質問3】施設番号基準の進捗状況をお聞きたい。(愛知・鈴木評議員)

【回答】識別番号制度政策の趣旨の一つは、無届けで歯科技工を業として行うことのないようにすることであり、現在、その根本的な解決策について厚生労働省と協議している。決まり次第ご報告する。(杉岡会長)



【質問4】日本歯科技工士連盟の役員について、任命制ではなく、公益日技と同様に選挙で選ぶべきではないかと。(宮崎・宮永評議員)

【回答】役員の選出については、適材適所を基本的に連盟規約に則って行っているが、評議員会の議決として副会長および理事も選挙を行うべきだということであれば、改めて提案していただければ検討させていただきます。(杉岡会長)

【質問5】大阪府歯科医師会会長より、教育年限の問題や経済問題などについて、これまで日技と日歯の間で文書を交わすなどを行っているのであれば、それに沿って日歯の総会などで質問をするというお話をいただいている。そのようなことがあるのであれば持ち帰って説明したいので、教えていただきたい。(大阪・重光評議員)

【回答】教育については昨年7月、日歯、日技、全技協、歯技協の4団体で「歯科技工士に関する意見交換会」を開催し、今年1月に最終確認をして、文部科学大臣と厚生労働大臣に要望書を提出した。

この要望書では、教育の大綱化を進めること、教育年限については今年度から厚生労働省に検討委員会を設置して早急に対応すること、歯科技工士の教員要件や定員を見直すことなどを要望している。

歯科技工経済については、昨年12月と今年1月に、日歯と日技の担当役員による「製作技工に関する考え方についての意見交換会」を開催した。

この意見交換会に向けて、①歯科の医療費の適正な評価、②超高齢社会における歯科技工士の業務の在り方、③製作技工に関する費用の考え方の周知の3点からなる「歯科技工士の明るい未来に向けた提言」をまとめた。詳しくは本日配付の資料をご確認いただきたいが、これをもとに協議を進めている。

また、2011年から継続して開催している歯科三団体連盟役員懇談会は、今年2月の開催で15回目を迎えた。この懇談会に出席するにあたっては、我々は必ず要望したい内容を資料にして提出している。そのときの資料を提供するので参考にさせていただきたい。(杉岡会長)



【質問6】教育年限を延長して3年制という話の中で、公衆衛生学の話がこれまで一度も出てきたことがない。公衆衛生学は2年で習得できるものではないと考えるが、これを必須にすることは不可能なのだろうか。(大阪・重光評議員)

【回答】教育年限を延長した際のカリキュラムについては、公益日技に設けられた政策研究委員会において議論を進めており、CAD/CAMをはじめとした歯科技工技術を教える時間の拡充のほか、新たに歯科技工士の将来の発展のために増やすべき科目も検討している。

歯科技工士以外に公衆衛生学が入っていない医療職種がどのくらいあるか、あるいは、なぜこれまで歯科技工士教育に感染症予防などの科目がなかったのかという歴史についても検証している。医療職種というからには、この分野が抜けてはいけいと認識している。(岩澤常任総務)

【質問7】歯科技工士会会員である地方議会議員が11名いらっしゃるそうだが、日技連盟として、その方々とのように接していくのか、お考えをお聞きたい。この方々に集まっていたら、お話を聞きながら方針を決めていくということもお願いしたい。(神奈川・青木評議員)

【回答】まずはこの11名について、経歴や議会での活動、歯科技工士会への思いなどをお聞きし、日技連盟ホームページに掲載することを考えている。

特に神奈川県原野原市議員については、十分にご活躍をされているということであり、中村総務からも報告を受けているので、今後速やかに原議員にご連絡し、日技連盟としても何らかのフォローをしていきたい。

お話にあるように、この方々に集まっていただく機会を設けるということも、今後の展開としてはあり得ると考えている。(大西理事長)

歯科技工士が技能を發揮できる環境の整備が大切 歯科技工士に関する制度推進議員連盟・瀬戸隆一議員に聞く

歯科技工士に関する制度推進議員連盟の所属議員と都道府県技連盟との交流支援を目的としたインタビュー企画。

今回は香川県歯科技工士連盟による瀬戸隆一議員へのインタビューを掲載いたします。

【出席者】香川県歯科技工士連盟・藤田誠司会長、香川県歯科技工士会・西桶浩三会長、梶原茂樹副会長

東日本大震災を機に 政治家を志す

西桶会長(以下、西桶) 瀬戸隆一先生、本日はお忙しい中、お時間をつくっていただきありがとうございます。日本歯科技工士連盟の機関紙『れんめい』では、歯科技工士の制度推進議員連盟に所属されている国会議員の先生方のインタビュー取材を掲載しております。今回は香川県歯科技工士連盟の企画により、インタビューを通して先生のお人柄やお考えなどをご紹介しますと考えておりますので、よろしくお願いたします。

瀬戸議員(以下、瀬戸) よろしくお願いたします。

西桶 先生は特技が少林寺拳法とお聞きました。

いつ頃からされているのですか。

瀬戸 大学生の時からです。私の地元、香川県に少林寺拳法の総本山があり、大学の夏休みは本山で夏合宿をし、その後帰省していました。最近は3カ月に一度くらいですが、地元にある道院に行っています。

ただ、なかなか道場に行く時間を見つけられないのが残念です。

東京では朝の8時頃から自民党本部で部会が開催され、その後は委員会や本会議などがあつたり、夜は会合というスケジュールです。平日はどうしても東京にいるということになります。

ただ地元に戻る時は、できるだけ時間を見つけ、道場に行くようにしたいと思っています。

西桶 お忙しい議員活動の中で空手道推進議員連盟

の幹事をされていますが、これも少林寺拳法と何か関係があるのですか。

瀬戸 私はもともと武道に関心が強く、武道の推進といった観点からも、空手がオリンピックの競技に入ってほしいという思いを学生時代から持っていました。

西桶 正式に追加競技に決まったということで、感慨深いものがあるのではないですか。

瀬戸 かつては空手がオリンピック競技になるということは夢のまた夢のように言われていました。嬉しい限りです。

オリンピック種目になるということで、「自分もオリンピックに出たい」という小中学生が増えていきます。オリンピックという大きな目標ができたことで、子供たちが目をキラキラ輝かせるようになりました。

オリンピック効果はすでに出始めています。

西桶 空手は日本の伝統的な武道ですから私も感慨深いです。

先生は総務省に20年近くお勤めになられた後、政治家に転身されましたが、政治家を目指そうと思われたきっかけはどのようなことだったのですか。

瀬戸 一番大きかったのは東日本大震災です。その際に私は、災害対応という国家全体に関われることは、政治家という立場の方が、より国に貢献できるのではないかと思ったのです。

震災の3年ほど前に2年間、岩手県警察に総務省から出向したことがありました。その時に岩手県の皆さんには大変お世話になったという想いがありましたので、震災直後に内閣府被災者支援チームに出向し、東北の支援を行いました。

被災者支援チームでは、岩手県をはじめ被災地に支援物資を送るための窓口の役割を担っていました。かつてその地にお世話になった人間ですから、土地勘もありましたし、仕事に熱が入りましたね。

当時、支援物資を送りたい、パソコンやタブレットなどを贈りたいというNPOや民間企業の方々がたくさんいらっしゃいました。しかし、「県や市町村の窓口がどこか分からない。どうしたらいいんだ」という声がたくさん上がっていたのです。

そのような声に対して、窓口をお教えしたり、窓口がない市町村には窓口を設けてもらったりして、パイプ役、調整役を行いました。

その中で、一人の役人としての力ではなかなか進まない、壁にぶち当たることが幾度もありました。そこで政治の場に立ってしっかりと復興や防災、災害対策に取り組もうと決心したのです。

西桶 地元自治体の役所自体も被災していますから、その復旧に時間がかかると、やはり復旧・復興が遅れてしまいます。

瀬戸 やはり東京の中央政府という司令塔が被災せずに機能していたことは不幸中の幸いでした。将来、万が一東京で首都直下型地震が発生して司令塔である中央政府が機能しなくなるような事態が発生すれば、想像を絶することになると思います。今から対策を考えていかなければなりません。

災害の際は、歯科技工士の方々は歯型の調査などの役割を担われたりするのですか。

藤田連盟会長（以下、藤田） 歯科技工士は歯科医師の指示の下、身元不明者の捜査協力などを行います。その他、入れ歯の洗浄をしたり、入れ歯を無くされ

た方に仮の入れ歯の制作を迅速に行う必要があります。

西桶 東日本大震災の時も、東京都や神奈川県など複数の歯科技工士会がボランティアを組織し、被災地で活動を行いました。

瀬戸 それは素晴らしいですね。入れ歯をなくされたおじいさん、おばあさんから大変感謝されたのではないのでしょうか。

また避難所においては、しっかり栄養補給し、体力を保つといった観点からも歯のケアをすることは重要です。食べることができなくなったら体に不調を来しますから。

災害時だけでなく、これから高齢化社会が進んでいくにつれて、ますます重要になってくるのでしょう。

歯科技工士が技能を発揮できる環境を作ることが大切

西桶 ご指摘のとおり、高齢化社会が進む中で健康寿命の延伸は我が国の重要な課題です。当然のこととして入れ歯などの対応や管理は大切であり、我々の果たす役割も大きくなります。

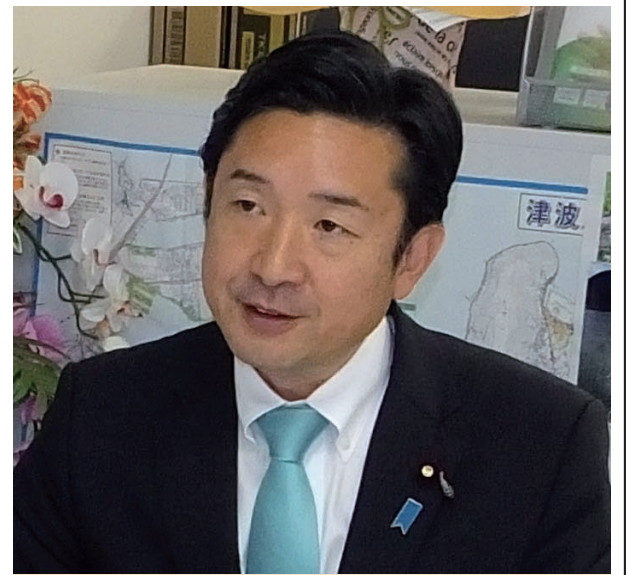
しかし歯科技工業界は多くの問題をかかえており、一例として、歯科技工士の数が減少しています。25歳以下の歯科技工士は全体の5%以下です。それらを解決するために「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」を立ち上げました。瀬戸先生にもご賛同をいただき、我々の長年の懸案事項でありました歯科技工士国家試験の全国統一化、歯科技工士に関わる医療職俸給表の改正にお力添えいただきました。ありがとうございました。

瀬戸 私の友人にも歯科技工士の方がいます。国家資格である歯科技工士という仕事に誇りを持っていらっしゃいます。「若い人たちに魅力のある仕事にしてほしい」との話を先日いただきました。特に、個人事業主の技工士はなかなか大変とのことでした。

西桶 次なる課題は「歯科技工士教育機関の教育年限を3年以上にする」ことです。

急激に発展・広域化しているデジタル化やインプラント技工等に対応するには、現在の2年では無理があると、現場の切実な声があります。歯科医師が6年、歯科衛生士が3年、歯科技工士が2年、そういった意味でも、現状のままではバランスの取れたチーム医療とは言えません。

瀬戸 インプラントをとっても、技術はどんどん進化し高度化しています。歯科技工士という資格をより



瀬戸隆一（せと たかかず）議員プロフィール

昭和40年8月2日生 51歳 坂出市出身
 平成3年3月 東京工業大学大学院修了
 平成3年4月 郵政省入省
 平成9年7月 熊本県山鹿郵便局長
 平成13年7月 郵政事業庁貯金部管理課課長補佐
 平成14年8月 総務省郵政企画管理局貯金経営計画課長補佐
 平成15年4月 日本郵政公社郵便貯金事業本部 統合リスク管理部グループリーダー
 平成16年9月 総務省大臣官房総務課課長補佐
 平成18年8月 岩手県警察本部警務部長
 平成20年7月 総務省通信基盤局電波部移動通信課推進官
 平成22年7月 総務省大臣官房秘書課調査官
 平成23年3月 併任 内閣府被災者生活支援チーム企画官
 平成23年10月 出向 インテル(株)事業本部事業開発部長
 平成24年8月 総務省退官
 平成24年12月 第46回衆議院議員選挙初当選

誇りの持てるものにするためにも、技術の習得の場を作っていくことは必要と考えます。

また、技術の向上によって歯科技工士の所得の向上にもつながると考えます。

西桶 そして次は「製作技工に要する費用の考え方」です。

藤田 公的医療保険の中ですから、そこは統制経済でありリミットがあります。その中でつくる側はいわゆる国民の取引きになり、そこに歪みが発生しております。だから、政治行政には放任ではなく、効果を発揮する新施策を求めたいのです。

梶原副会長 折角取得した国家資格にもかかわらず、若い歯科技工士がどんどん離職していく現状をご理解いただき、労働環境の改善にもお力をお貸しいただきたいです。

瀬戸 私の友人も競争の激化で事業継続がなかなか大変だと言っていました。

歯科技工士の方が落ち着いて技能を発揮できる環境を作ることが大切と考えます。まさに政治がしっかりと対応しなければならない問題です。

西桶 これらは非常に重いテーマですが、議員連盟の先生にお力添えをいただき、歯科技工士の思いを結集して取り組んでいきたいと考えております。

ところで先生、香川県は美味しい「うどん」で有名ですが、それ以外の香川県のアピールを全国の歯科技工士連盟会員に教えていただけますか。

瀬戸 美しい瀬戸内海です。多島美は世界の外のどこを探してもありません。夕暮れ時、穏やかな瀬戸内海に沈む真っ赤な夕日は必見です。

一度、香川においで下さい。

西桶 本日はありがとうございました。



